

報告事項

平成24年度PTA日韓交流事業について

大韓民国江原道との平成24年度PTA日韓交流事業について、別紙のとおり報告します。

平成24年11月20日

鳥取県教育委員会教育長 横濱純一

## 平成24年度PTA日韓交流事業について

家庭・地域教育課

### 1 趣 旨

環日本海諸国（大韓民国）のPTA関係者との交流促進を図ることにより、相互理解と友好を深め、子どもたちの健全育成に向けた活動をより一層発展させる。

### 2 期 日

平成24年10月9日（火）～12日（金） 3泊4日

### 3 訪問団

江原道学校運営委員会役員、保護者、教育庁職員、通訳 計9名

江原道学校運営委員会総連合会副会長	鄭 然 範 (チョン・ヨンボム)	団長
江原道学校運営委員会総連合会代弁人	金 熙 澈 (キム・ヒチョル)	
横城郡学校運営委員会地域会長	朴 玩 奎 (パク・ワンギョ)	
江原保護者会連合会会長	宋 美 羅 (ソン・ミラ)	副団長
保護者教育政策モニター団会長	朴 敏 善 (パク・ミンソン)	
保護者教育政策モニター団委員	嚴 蓮 玉 (オム・ヨノク)	
江原道教育庁創意人材課奨学士	李 淵 玉 (イ・ヨノク)	
江原道教育庁創意人材課主務官	方 根 澤 (パン・グンテク)	
金化高等学校教師	梁 孝 信 (ヤン・ヒョグァン)	通訳

### 4 主な日程

期 日	内 容
10月 9日(火)	○県教育長表敬訪問
10月10日(水)	○岩美町立岩美中学校を訪問 ○県立鳥取西高等学校を訪問 ○県PTA団体との意見交換会
10月11日(木)	○山陰海岸学習館を視察 ○琴浦町立以西小学校を訪問
10月12日(金)	○水木しげロード等を視察

なお、交流事業の状況については、別添資料のとおり。

(別添資料)

【10月10日(水)】

### 1. 岩美町立岩美中学校を訪問

- 施設見学、授業参観の後、学校側から、学校評価や組織マネジメントによる学校改善、スクラム教育の取組の手法や成果について説明
- 訪問団からは、スクラム教育の取組による教員の負担の増にどう対処したか、各家庭にどのように協力してもらっているか、問題行動が減少したとのことだが子どもへの体罰が増えたのではないかと、積極的に質問があった。
- 学校の取組に、教員が一丸となって参画していること、家庭や地域がたいへん協力的であることが印象的だった様子。



<岩美中学校での意見交換>

### 2. 鳥取県立鳥取西高等学校を訪問

- 同日程で実施していた江原道春川高校との交流事業を視察した。
- 両国の高校生による座談会における英語でのプレゼンテーションやグループ討議の様子を視察した後、施設見学を行った。



<鳥取西高校での生徒座談会>

### 3. 県PTA団体との意見交換会

- あらかじめ3つの議題(両国の保護者組織、いじめ問題、学力向上の取組)を定め、質問事項も事前に交換した上で、意見交換を行った。
- 韓国でも我が国同様に、子どもの健やかな成長のためには、家庭や地域の関わりが大切という意識が浸透してきている様子だった。
- 韓国の子どもたちが深夜まで学校で学習することを知るとともに、地域の人々が夜の通学路で子どもたちにまっすぐ帰宅するよう指導をしていること、あるいは、江原道の保護者組織が提唱して始まった食膳教育運動(食事の場で親子が共に過ごす時間をもつ)の成果や課題について学び、本県PTA団体にとっても新しい取組のヒントとなった様子だった。



<県PTA団体との意見交換会>

【10月11日（木）】

#### 4. 山陰海岸学習館を視察

- 山陰海岸ジオパークについて説明し、地質や地形を通じて、日本海形成から現在に至る日韓両国を含む広い地域の自然と歴史について学んでもらった。



<ジオパークについて説明を受ける>

#### 5. 琴浦町立以西小学校を訪問

- 地域の方と児童たちが「以西踊り」で歓迎。
- 施設見学、授業参観（学校支援ボランティアが外部講師となった書道等）の後、学校側から小規模学校の長所を活かした教育や、家庭や地域と一体となった取組について説明した。また琴浦町が進める「10秒の愛」の活動についても説明した。
- 訪問団から、江原道でも学校統合が進められており、小規模校のメリットや統廃合の基準、あるいは地域の人材との協力方法などについて積極的に質問があった。
- 地域の人々が子どもたちのために努力している様子が印象的な様子だった。また「10秒の愛」の考え方に感銘を受けたとのことだった。



<以西踊りを披露>



<子どもたちの授業の様子を参観>



<子どもたちに昔の遊びを習う参加者>